

# 目 次

## 第1章 調査の目的及び方法等

1 調査の目的	1
2 調査対象者、調査事項、調査方法等	1
（1）調査対象者	1
（2）調査方法	1
（3）調査事項	1
（4）調査実施期間	1
（5）標本抽出方法	1
（6）標本数及び有効回収数	1
（7）調査委託機関	1
3 調査対象者の基本属性	2
（1）性別・年齢別構成（F 1・2）	2
（2）結婚の有無（F 3）	2
（3）一人暮らしになった年齢（F 4）	3
（4）一人暮らしになる前に暮らしていた人（F 5）	3
（5）親族の有無（15分以内）（F 6）	3
（6）親族の有無（15分以上）（F 7）	4
（7）健康状態（F 8）	4
（8）日常生活への影響（F 9）	4
（9）介護の認定状況（F 10）	4
（10）仕事の有無（F 11）	5
（11）最長職業（F 12）	5
（12）配偶者の最長職業（F 13）	5
（13）住居形態（F 14）	6
（14）居住年数（F 15）	6
（15）都市規模	7

## 第2章 調査結果の概要

1 心配ごと・楽しみに関する事項	9
（1）日常生活での心配ごと（Q 1）	9
（2）日常生活での心配ごとの内容（Q 1 S Q）	11
（3）将来への不安（Q 2）	14
（4）将来の不安な点（Q 2 S Q）	16
（5）心配ごとの相談相手（Q 3）	19
（6）現在の楽しみ（Q 4）	22
2 食事に関する事項	24
（1）食事の内容（Q 5）	24
（2）食事に関して困っていること（Q 6）	26
3 外出に関する事項	28

( 1 ) 外出頻度 ( Q 7 )	28
( 2 ) 外出手段 ( Q 8 )	30
( 3 ) 外出で困っていること ( Q 9 )	33
4 人とのつきあいに関する事項	35
( 1 ) 近所づきあい ( Q 10 )	35
( 2 ) 親族との接触頻度 ( Q 11 )	37
( 3 ) 老後における望ましい子供とのつきあい ( Q 12 )	39
( 4 ) 親しい友人の有無 ( Q 13 )	41
( 5 ) 友人との接触頻度 ( Q 13 S Q )	43
( 6 ) 日常の用事を頼む相手 ( Q 14 )	44
( 7 ) グループ活動への参加状況 ( Q 15 )	46
( 8 ) 今後の同居意向 ( Q 16 )	48
5 経済に関する事項	50
( 1 ) 経済的な暮らし向き ( Q 17 )	50
( 2 ) 毎月の収入 ( Q 18 )	52
( 3 ) 主な収入源 ( Q 19 )	53
( 4 ) 財産管理を委ねる相手 ( Q 20 )	56
6 健康・福祉に関する事項	58
( 1 ) 通院の程度 ( Q 21 )	58
( 2 ) 通所・在宅福祉サービスの利用状況 ( Q 22 )	60
( 3 ) 通所・在宅福祉サービスの利用頻度 ( Q 22 S Q )	62
( 4 ) 介護の場所 ( Q 23 )	63
( 5 ) 緊急時の連絡先 ( Q 24 )	66
7 住宅に関する事項	70
( 1 ) 住宅の問題点 ( Q 25 )	70

### 第3章 集計結果

1 調査票と単純集計結果	73
2 クロス集計結果	83